

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 宝塚健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>働き世代においては、仕事で健康づくりに割く時間的余裕がないことに加え、近年のコロナ流行によるリモートワーク等生活様式の変化により、不規則な食生活（朝食欠食、間食の増加など）や運動不足、メンタルヘルスが健康課題となっている。</p> <p>なかでも、働き世代における朝食の欠食は兵庫県食育推進計画においても長年の課題であり、昨年度管内事業所の社員寮を対象に朝食実態調査を実施したところ、管内においてもやはり朝食を欠食している人の割合が多かった。朝食習慣をはじめとする健康的な食習慣の定着のためには、個人への啓発だけでは限界があり、とくに無関心層を巻き込んでいくためには自然に健康になれる食環境整備も必要である。</p>
今年度の推進方策	<p>管内の事業所を対象に、働き世代の望ましい食習慣の定着をテーマとして食育の普及啓発を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・事業所における健康づくりに対する意欲や取組み状況等についての実態調査・朝食摂取を促す取組みの推進（事業所にてキャンペーン実施）・事業所間・関係団体との情報共有
成果	<p>事業所における働き世代の健康づくりに対する関心度や取組みについての実態を知ることができた。本事業を通して取組みや課題について事業所間で広く共有でき、今後の取組みの参考や関係団体との関係づくりができた。</p>
今後の方向性	<p>今後も事業所や関係団体と連携し、働き世代の健康づくりにおける実態把握に努める。来年は「減塩」をテーマに事業を展開したい。</p>

2 会議の開催状況

実施日時	令和6年2月27日（火）14:00～15:30
参集者 (団体数 及び人数)	○管内事業所 5施設（オンライン参加：4施設5名） ○栄養士会（2団体） ○市栄養士（宝塚市・三田市） （計9団体12人）
協議内容	○実践活動報告 ①事業概要の説明と取組み報告（宝塚健康福祉事務所より） ②事業所における取組み・情報提供（2事業所より） ○質疑応答・情報交換 ○協議・意見交換 テーマ「働き世代の健康づくりを促す食環境整備に向けて」
今後の方策	今後も引き続き、事業所給食施設を中心に会議への参加を呼びかけ、参加企業数の増加に努める。関係団体との連携を図る。

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	働き世代の望ましい食習慣の定着		
対象及び参加者数	第1回 管内事業所	18施設	
	第2回 管内事業所	2施設	
	第3回 管内事業所	30施設	
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和5年5月 ～令和6年2月 ・ 各事業所 (給食施設巡回)	【実地調査】 社員食堂等における健康づくりや朝食摂取の推進について具体的な取組み状況と課題の把握	宝塚健康福祉事務所
	令和5年10月 ・ 住友化学(株)健康・農業関連事業研究所、 三菱マテリアル(株) 三田工場	【普及啓発】 朝シャキッ！キャンペーン (啓発媒体による朝食啓発)	宝塚健康福祉事務所
	令和6年1月 ・ 各事業所	【普及啓発】 朝食啓発媒体の共有 ヘルシーレターの発行	宝塚健康福祉事務所
成果	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査を行った事業所ではほとんどが社員の健康づくりに関心をもっていたが、取組みの力の入れ具合には差があった。 ・朝シャキッ！キャンペーンにおける一部施設での認知度調査では約40%という結果も出ており、普及には内容や方法、啓発期間についての検討が必要である。 ・朝食啓発媒体は、2施設から送付の希望があった。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実地調査の目標施設数12施設（特定給食施設） →18施設（うち特定給食施設11施設）で実施。目標達成。 ・朝シャキッ！キャンペーンの目標施設数2施設 →宝塚市・三田市1施設ずつ計2施設で実施。目標達成。 		
今後の課題	働き世代の健康づくりにおいて、職場における食環境整備は非常に重要であり、どの事業所でも取組みが推進されるように支援していく必要がある。		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。

働き世代における 望ましい食習慣の定着

事業 背景

- ・働き世代の朝食の欠食は兵庫県食育推進計画においても長年の課題であり、昨年度管内社員寮で行った実態調査においてもその実態があった。
- ・朝食の摂取を含めた望ましい食習慣の定着のためには、個人への啓発とともに自然に健康になれる食環境整備が必要である。

事業の ねらい

- ・管内事業所における健康づくりに対する意欲や取組みの現状把握
- ・朝食摂取の促進
- ・健康づくりの取組みや情報の共有

I 実地調査

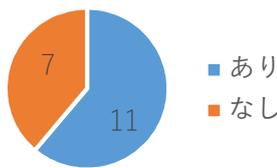
【調査対象】管内事業所 18 施設（うち特定給食施設 11 施設）

【調査時期】令和5年5月～令和6年2月

【調査方法】給食施設巡回指導時に栄養士により聞き取り実施。

■社員食堂における利用者の健康に配慮した取組み

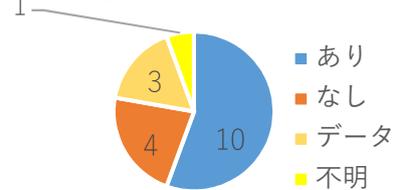
「ヘルシーメニュー」の有無



栄養成分表示の掲載



健康・栄養情報の提供

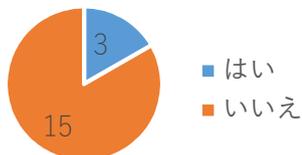


どの項目においても、半数以上の事業所が実施している。

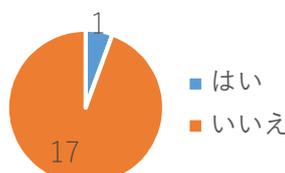
健康・栄養情報の提供に関しては、社内ネット掲示板や食堂モニターなどを活用している施設もあった。

■朝食摂取について

朝食摂取状況の把握を
しているか



朝食摂取を促す取組みを
しているか



・朝食の摂取状況はほとんどの事業所が把握していない。把握している施設では、健康診断結果や朝食利用率により把握。

・朝食摂取を促す取組みはほとんどできていない。

Ⅱ 朝シャキッ！キャンペーン

●ポスター



●ポップ



管内2事業所にポスターやポップを1ヶ月間掲示して啓発。掲示場所は、軽食自動販売機や食堂掲示板など。

Ⅲ ヘルシーレター



(左写真)：実態調査で把握した管内事業所における健康づくりの取組みを共有。
(右写真)：朝食摂取を推進する食環境づくりについての現状と啓発。

R5 健やか食育プロジェクト会議

- 日時：令和6年2月27日(火) 14:00～15:30
- 参加者：管内事業所5施設、市町栄養士、地域活動栄養士
- 内容：事業の概要と報告、事業所における健康づくりの事例発表、情報・意見交換

→自施設での課題の見直しや今後の取組みの参考に。関係団体との連携体制の強化。



成果と今後の方向性

今回実地調査を行った事業所では、ほとんどが社員の健康づくりに関心を持って取組みを実施していたが、取組みの力の入れ具合には差があった。今後も食育の機会の少ない働き世代へのアプローチは必要であり、啓発テーマを変えながら取組みを広げていきたい。